

FGI

FinTech Global Inc.

FGI

FinTech Global Incorporated

*The firm of innovative financing*

フィンテック グローバル株式会社

第 20 期

中間 事業報告書

2013.10.1~2014.3.31

**事業を多角化しつつ、  
的確に戦略事業に経営資源を投入し、  
成長スピードを加速いたします。**



2014年9月期上半期におきましては、大型投資事業の投資回収により、連結売上・営業利益に12億円を計上するなど、大幅な増収増益となりました。加えて、事業成長に向けて各種プロジェクトを着実に推進いたしました。具体的には個人を対象とした不動産事業であるベターライフサポート事業の強化に向けて建設会社、不動産会社を子会社化するとともに、今後の事業拡大のため新株予約権を発行し、この行使が進んだことにより、2014年3月から5月に18.3億円の資金を調達しました。一方、再保険子会社Crane Reinsurance Limitedにおける仲裁が2014年4月に和解となり、保険契約準備金等の戻入により、売上原価で△174百万円を計上しています。

当社グループは“企業の成長、事業拡大に貢献するブティック型投資銀行”を命題に掲げ、ファイナンスアレンジメント等を行う投資銀行業務と企業投資を事業の軸としています。特に近年は国内外企業との“協働型の企業投資”と“地方基盤”が事業のキーワードです。この一環で、2013年には水力発電設備の改修事業への投資を推進する企業や、世界的に有名なキャラクターであるムーミンを主題としたテーマパークを設立・運営する(株)ムーミン物語への出資を行っています。加えて当上半期には、前述したベターライフサポート事業の推進に伴い、グループが展開するプロジェクトは個人顧客向けのBtoC分野にも広がりつつあります。

今後におきましては、特に3つの事業——①ムーミンテーマパーク事業（フィンランド、そして日本で人気が高い「ムーミン」を主題とするテーマパークを設立予定の(株)ムーミン物語への投資及び経営支援）②ベターライフサポート事業 ③水力発電事業（老朽化した水力発電設備の改修によって再生可能エネルギーの固定価格買取制度を利用可能とする事業投資等）——に前述の調達資金と経営資源を投入し、成長を加速させてまいります。ベターライフサポート事業におきましては、まずは戸建分譲事業の推進をテーマに掲げ、早期に中核3社である(株)ユニハウス、岡山建設(株)、(株)ベルスのビジネスシナジーを創出すべく、事業運営体制を整備いたします。

株主、投資家の皆様には、何卒一層のご支援を賜りたく、よろしく申し上げます。

2014年6月  
代表取締役社長

玉井 信光

投資銀行業務と企業投資を両輪として、顧客企業の事業拡大を支援。

推進プロジェクトは多様化・深化。

B to Bを中心とする国内地域支援プロジェクト、海外展開に加えて、

B to C (個人顧客向け)事業も拡大。

企業の成長、事業拡大に貢献  
企業に真に必要なとされるブティック型投資銀行

投資銀行業務

企業の資金調達ニーズに対し、  
ストラクチャードファイナンス・  
プロダクツを提供

企業投資

潜在性・将来性の豊かな企業に投資  
成長を支援し、  
投資先企業の価値を高めます

投資

ベターライフサポート  
事業

- 岡山建設
- ユニハウス
- ベルス

ストラクチャードファイナンス  
プロジェクト推進アレンジ等

投資

不動産の情報、建築請負、  
住宅建築・販売

顧客企業・投資先企業    ファンド・地方自治体

企業投資

- 海外企業との協働  
(ジョイントベンチャー)
- ムーミンテーマパーク
- ムーミンEコマース
- ハニーバイクドハム

ライフサイエンス

先端エレクトロニクス技術

地域支援プログラム

- 財政健全化支援
- 太陽光発電、水力発電
- 地方中心市街地再開発
- 地域産業支援

個人顧客

- 持家取得サポート情報提供  
(企業の従業員向け福利厚生)
- 住居建築、リフォーム
- 戸建分譲、不動産仲介

## 地域支援プロジェクト

日本全国各地で地域住民、産業に貢献するプロジェクトを展開しています。

近年の実行及び今後実行予定の代表的なプロジェクトを紹介します。



### 鳥取県(米子)



**サービス付き高齢者専用住宅のアセットマネジメント**  
(1号案件の開発・運用2012年8月～)  
(2号案件の運用2014年3月～)

中心市街地の活性化に寄与するサ高住の開発や運用のアセットマネジメントを受託

**地域金融機関の資本強化をアレンジメント**  
(2013年10月)

金融機関より、地域の基幹産業や雇用面等地域経済への影響が大きいと認められる地元企業の事業継続、再生支援をしていくことを目的とする自己資本増強の施策のアレンジメント業務を受託

### 北海道(苫小牧)

**太陽光発電事業の市民ファンドアレンジメント**  
(2013年6月)

地域の有力企業、証券会社と協働して、太陽光発電事業の市民ファンドをアレンジメント(2013年8月より発電事業開始)

### 関東地方、北海道地方

**水力発電設備の改修事業への投資等**  
(2014年8月以降予定)

老朽化して大規模改修が必要な水力発電設備を再生可能エネルギーの固定価格買取制度を利用可能な近代的な設備へ改修する事業に投資するファンドへ投資等を予定



### 全国各地

**太陽光発電事業による投資機会の提供**  
(今後の予定より抜粋)

山口県	500KW
広島県	600KW
千葉県	75KW
千葉県	50KW
千葉県	100KW
栃木県	250KW
栃木県	600KW

(数値は発電出力)

### 徳島県(阿波等)

**太陽光発電事業の市民ファンドアレンジメント**  
(2014年2月)

地域の発電事業者、銀行、証券会社と協働して、阿波、鳴門、土佐泊の3ヶ所での太陽光発電事業の市民ファンドをアレンジメント

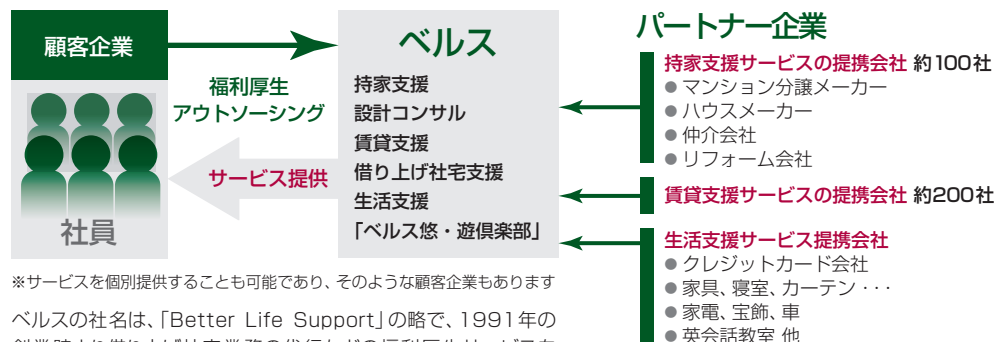
## ベターライフサポート事業

個人顧客を対象とした不動産関連事業(ベターライフサポート事業)の本格展開に向けて事業整備を進めています。

### 岡山建設(株)、(株)ユニハウスの株式取得

フィンテックグループでは、子会社(株)ベルスが顧客企業の従業員福利厚生サポートとして、持家取得のための情報提供などの不動産関連事業を展開してきましたが、これを戸建分譲事業などを行うベターライフサポート事業として拡大していきます。この一環として、2014年2月に神奈川県を営業基盤とする中規模ゼネコンの岡山建設(株)の全株式を、3月には東京城南地区を営業基盤に戸建分譲事業・不動産の仲介事業を展開する(株)ユニハウスの全株式を取得しました。

### ベターライフサポート事業を構成する子会社(株)ベルスの業務内容



ベルスの社名は、「Better Life Support」の略で、1991年の創業時より借り上げ社宅業務の代行などの福利厚生サービスを顧客企業から受託してきました。現在も、主に住宅関係サービスや生活支援サービスを多くの企業の従業員に提供しています。

## ムーミン・テーマパーク設立の進捗状況 (2014年5月現在)

当社は2013年11月にムーミンを主題としたテーマパークを設立・運営していく「(株)ムーミン物語」に50%出資し、この事業活動を支援しています。

(株)ムーミン物語の事業計画は今後変更されることがあり、また、その説明文、データの完全性、無謬性を保証するものではありません。

### 1. テーマパーク候補地

いずれの候補地も首都圏内で、約3,000坪の敷地。開園時で約1,000坪程度の建物を建設。開園後は、定期的に新たな設備を導入・拡大予定。

### 2. 内容・施設

- コミュニティデザイン、エクスペリエンスデザイン、サスティナブルデザイン、ビジネスデザイン、コミュニケーションデザインの5つのデザインコンセプトを組み合わせた体験・体感・参加型パーク。
- ムーミンの原作の持つ世界観を軸に、ムーミンが生まれた背景、ムーミン原作者のトーベ・ヤンソンの人生・哲学・アート、ムーミンを生んだフィンランド・北欧の文化や自然をテーマに展開。
- ムーミンや北欧文化にふれるだけでなく、エコロジーや北欧の文化を実際に学び、体験できる。
- 施設は、ムーミン屋敷、ヤンソン・ミュージアム、ライドオンバーチャルリアルティシアター、3Dプロジェクトマッピングなどの技術を駆使したアトラクション、身体を使って楽しめるアミューズメントなど。



(株)ムーミン物語のロゴマーク

### 投資銀行事業

- 投資銀行業務:** 市民ファンドのアレンジメント業務や、証券化手法を用いたスキームの構築・運用の助言などを受託したほか、取引を通じて各地域の金融機関等との関係が強化されました。
- 企業投資(プリンシパルインベストメント業務):** 大型投資事業の投資回収により連結売上高・営業利益に12億円を計上しました(このうち一部はアセットマネジメント事業での売上高)。投資先企業である(株)ムーミン物語のムーミン・テーマパーク事業においては、テーマパークの立地や共同事業者等の選定を支援しています。同じく投資先企業でムーミン関連商品のEコマースを行うAll Things Commerce Helsinki Oy (フィンランド)は、2014年1月に日本法人を設立しており、当社は日本向けのEコマースサイト開設に向けての支援を行いました。

### アセットマネジメント事業

- フィンテックアセットマネジメント(株)(FAM):** 当社の大型投資事業の投資事業組合における無限投資組合員として投資回収に係る収益を計上しました。また、当社グループのベターライフサポート事業を展開するため、当社の岡山建設(株)、(株)ユニハウスの株式取得を推進しました。その他、サービス付高齢者向け住宅としては2件目のアセットマネジメントを受託しました。

### その他投資先事業

- (株)ベルス:** 景気回復効果や従業員40万人規模の企業へのサービス提供開始により、持家支援サービス部門が引続き好調を維持しました。顧客の社宅制度廃止の影響を受けたものの、生活支援サービス等が堅調に推移した結果、単体での売上高は209百万円、営業損失9百万円となりました。なお、第3四半期からは新規社宅業務を3件受注するほか、生活支援サービス拡大に向けて準備を進めています。

### 2014年9月期上半期セグメント別業績 (単位:千円)

	売上高	営業損益
投資銀行事業	1,261,535	1,123,930
アセットマネジメント事業	179,307	106,196
その他投資先事業	211,140	5,243
公共財関連事業	36,755	△19,132
合計	1,688,739	1,216,237
調整額	△18,608	△375,197
連結損益計算書計上額	1,670,130	841,040

- Crane Reinsurance Limited (Crane):** 再保険事業を行うCranelはHardy Underwriting Limited & Others, Lloyd's Syndicate Number 382(以下Hardy)との仲裁手続きについては、CraneがHardyに1,300百万円支払うことにより、2014年4月に和解しました。この支払金額は2013年9月期に計上している保険契約準備金1,406百万円、未払金72百万円等の範囲内に留まったため、当上半期においては、保険金戻入等により売上原価△174百万円、営業利益20百万円を計上しました。なお本仲裁の和解成立により、Cranelは再保険契約による債権・債務がすべてなくなっています。

注:当上半期において株式取得により連結子会社化した岡山建設(株)、岡山建設ホールディングス(株)、(株)ユニハウス、(株)スリーオーク、ユニハウスホールディングス(株)については、当該各連結子会社の貸借対照表のみ連結しているため、当上半期に係る四半期連結損益計算書には当該各連結子会社の業績を含んでおりません。

### 公共財関連事業

- (株)パブリック・マネジメント・コンサルティング:** 総務省が新地方公会計の統一モデルを今秋に発表するとしてたことで、地方自治体が今後の動向を見極めるため様子見となりました。これが同社の公会計導入コンサルティング事業にも影響し、当上半期は減収、営業損失となりました。しかし、今後は2015年度予算に公共財の管理計画策定に関する予算が盛り込まれており、この事業機会を確実に捉えてまいります。

## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表

(単位 千円)	当第2四半期末	前期末
科目	(2014年3月31日現在)	(2013年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>5,638,234</b>	<b>4,148,573</b>
現金及び預金	2,123,441	1,644,879
受取手形及び売掛金	102,540	110,261
完成工事未収入金	237,251	—
営業投資有価証券	2,164,958	1,617,268
販売用不動産	29,012	—
仕掛販売用不動産	116,324	—
未成工事支出金	55,729	—
繰延税金資産	5,326	6,113
営業貸付金	859,382	826,118
その他	176,722	143,464
貸倒引当金	△232,456	△199,533
<b>固定資産</b>	<b>721,316</b>	<b>622,164</b>
有形固定資産	190,504	130,167
無形固定資産	179,029	201,864
投資その他の資産	351,782	290,133
<b>資産合計</b>	<b>6,359,550</b>	<b>4,770,738</b>
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>1,363,861</b>	<b>419,295</b>
支払手形及び買掛金	206,960	26,945
工事未払金	233,566	—
未成工事受入金	28,931	—
短期借入金	398,250	26,000
1年内償還予定の社債	16,000	16,000
未払法人税等	65,786	11,747
預り金	228,012	72,192
賞与引当金	25,200	24,376
その他	161,152	242,033
<b>固定負債</b>	<b>525,609</b>	<b>1,635,207</b>
社債	32,000	40,000
退職給付引当金	135,930	109,966
繰延税金負債	56,672	64,919
保険契約準備金	288,000	1,406,936
その他	13,005	13,384
<b>負債合計</b>	<b>1,889,470</b>	<b>2,054,502</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>4,431,224</b>	<b>2,688,361</b>
資本金	2,716,918	2,312,517
資本剰余金	381,366	12,490
利益剰余金	1,332,963	363,446
自己株式	△24	△92
<b>新株予約権</b>	<b>12,469</b>	<b>2,050</b>
少数株主持分	26,385	25,824
<b>純資産合計</b>	<b>4,470,080</b>	<b>2,716,236</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>6,359,550</b>	<b>4,770,738</b>

### 四半期連結損益計算書

(単位 千円)	当第2四半期累計	前第2四半期累計
科目	(2013年10月1日から 2014年3月31日まで)	(2012年10月1日から 2013年3月31日まで)
<b>売上高</b>	<b>1,670,130</b>	<b>608,162</b>
<b>売上原価</b>	<b>4,863</b>	<b>72,411</b>
<b>売上総利益</b>	<b>1,665,267</b>	<b>535,750</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>824,227</b>	<b>778,375</b>
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	<b>841,040</b>	<b>△242,624</b>
<b>営業外収益</b>	<b>74,889</b>	<b>68,494</b>
<b>営業外費用</b>	<b>2,532</b>	<b>2,229</b>
<b>経常利益又は経常損失(△)</b>	<b>913,396</b>	<b>△176,359</b>
<b>特別利益</b>	<b>178,200</b>	<b>110,386</b>
<b>特別損失</b>	<b>6,161</b>	<b>1,382</b>
<b>税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)</b>	<b>1,085,435</b>	<b>△67,355</b>
<b>法人税等</b>	<b>49,729</b>	<b>△2,377</b>
<b>少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)</b>	<b>1,035,705</b>	<b>△64,977</b>
<b>少数株主利益又は少数株主損失(△)</b>	<b>5,726</b>	<b>△47</b>
<b>四半期純利益又は四半期純損失(△)</b>	<b>1,029,979</b>	<b>△64,929</b>

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 千円)	当第2四半期累計	前第2四半期累計
科目	(2013年10月1日から 2014年3月31日まで)	(2012年10月1日から 2013年3月31日まで)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△781,797</b>	<b>△445,985</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>536,122</b>	<b>82,245</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>700,236</b>	<b>△138,280</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>14,000</b>	<b>62,908</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>468,562</b>	<b>△439,112</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>1,644,879</b>	<b>2,522,754</b>
<b>連結除外に伴う現金及び現金同等物の 減少額</b>	<b>—</b>	<b>△462,084</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>2,113,441</b>	<b>1,621,557</b>

## 会社概要・株式の状況 (2014年3月31日現在)

商号	フィンテック グローバル株式会社
設立	1994年12月7日
資本金	27億1,691万8,793円
連結従業員数	107名
連結子会社数	13社
発行済株式の総数	1,307,218株 (2014年4月1日を効力発生日とする1:100の株式分割により、同日の発行済株式の総数は130,721,800株となっております。)
株主数	11,237名

## 役員 (2014年5月31日現在)

代表取締役社長	玉井 信光
取締役会長	ロバート・ハースト
取締役	鷺本 晴吾 (執行役員 経営管理部長)
	三橋 透 (フィンテック アセットマネジメント(株)代表取締役社長)
	山中 秀介 (フィンテック グローバルトレーディング(株)代表取締役)
常勤監査役	二宮 幸一
監査役(社外)	萩原 啓史
	大山 亨

## 株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	12月
基準日	9月30日
中間配当基準日	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ市場(証券コード: 8789)
公告の方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載 URL	<a href="http://www.fgi.co.jp/ir/download/">http://www.fgi.co.jp/ir/download/</a>
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土日祝日を除く)

## フィンテック グローバル株式会社

金融商品取引業(第二種金融商品取引業、投資助言・代理業)

登録番号：関東財務局長(金商)第1469号

<http://www.fgi.co.jp/>

本社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28  
虎ノ門タワーズオフィス 19F  
Tel. 03-5733-2121(代表)  
Fax.03-5733-2124